

いつもお世話になっております。ファクスお借りして恐縮です。ご発注よろしくお願いたします。
書肆心水 FAX 03-6677-0682

皇室と日本 津田左右吉著

敗戦後皇室論議の要諦

歴史研究の立場から見た皇室をめぐる論理と感情

時代に順応して変化するところにあった皇室の「恒久性」

皇室の存在が再定義されつつあるいま、敗戦後の出発点における「象徴天皇制」をめぐる議論の基本を確認する。皇室制度支持世論の持続と左翼型反天皇制論衰退の原因を、長大な連作『文学に現はれたる我が国民思想の研究』で知られる歴史研究の碩学津田左右吉が残した論説に読む。

● 目次

I

日本の国家形成の過程と

皇室の恒久性に関する思想の由来

日本の皇室

皇室の問題

皇室に関する思想について

II

元号の問題

教育に関する勅語について

「建国記念の日」を設けたい

未来の日本は過去の日本から作られる

八月十五日のおもいで

『菊と刀』のくに——外国人の日本観について

神代史のカミについて

天皇考

(附録) 回顧二千年

津田左右吉(つだ・そうきち)

1873年生、1961年歿。歴史学者。厳密な古典批判により、学問的な日本・東洋の古代史と思想史研究を開拓。のちにその記紀研究が右翼思想家から告発され、いくつかの著書が発禁となり、次いで出版法違反で起訴される。主著『文学に現はれたる我が国民思想の研究』(岩波文庫全8巻)。その膨大な著作は岩波書店版『津田左右吉全集』全35巻に収録されている。

取次番線印

新刊
注文取扱返条付
(清藤)

お名前

部

皇室と日本 敗戦後皇室論議の要諦

津田左右吉著

ISBN978-4-906917-68-6 C0021

A5判上製 320頁 本体6900円+税

6
月
中
旬
刊

FAX 03-6677-0682 でんわ 03-6677-0101
http://www.shoshi-shinsui.com

書肆心水
Shoshi Shinsui

ご注文はJRCへ 03-3294-2177

すべての取次への出荷が可能です。返品は長期にお受け致します。(了解者 JRC 後藤)